

マンホールアップサイクルプロジェクト

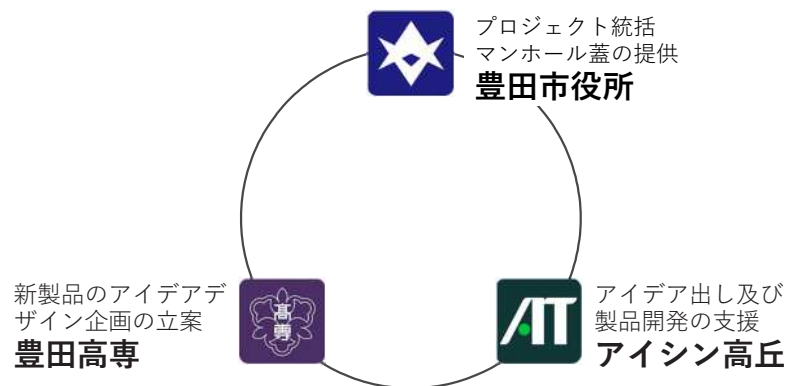
目的と概要

本プロジェクトの目的は、豊田市の使用済みマンホールをアップサイクル（再利用/加工）し、持続可能な社会へ貢献することです。

これには、アップサイクル製品の創出により、廃棄物の最小化とリソースの効率的な再利用方法を模索します。



プロジェクト参加者とその役割



活動期間と進捗状況

2024年1月にキックオフを行いました。アイシン高丘での鋳造工程の工場見学や、アイデア創出期間を経て、2025年3月に製品企画発表会を実施。2025年4月より提案アイデアの選定と具現化検討を行っています。



提案されたアイデア

チーム 01

マンホールの素材を活かした、デザイン性の高い**テーブルセット**。

30代～60代の夫婦をターゲットに考案。

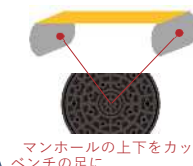


チーム 02

デジタルデトックス

（スマホ等から距離を置く）を目的として、公園等に置ける

ベンチを考案。

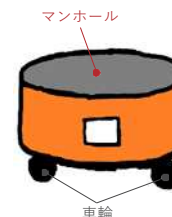


チーム 03

日常的な荷物の運搬に使用できる

自動小型搬送車。

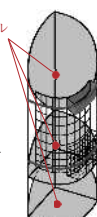
耐荷重100kgで、AIによる自動追尾機能も持たせる。



チーム 04

マンホールを1/4に切断し組合わせた、**傘立て**を考案。

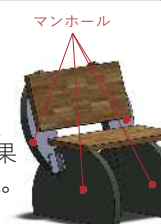
形状が1/4円なので、コーナーに置く事ができ、**磁石でフック**を取付け、**折り畳み傘**にも対応。



チーム 05

個人向けベンチを考案。当初は複数名が座れるベンチで検討していたが、アンケートを実施した結果

個人用にデザインを変更。



チーム 06

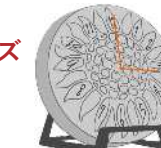
香水を仕込めるネクタイピンを考案。

良い香りは記憶に残るところに着目し、自身の印象を香りと共に相手の記憶に刻む事を目的に。



チーム 07

マンホールそのものの**デザインと使用中のキズを活かした****オンリーワンの時計**を考案。



チーム 08

最優秀賞

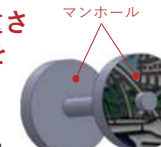
達磨ストーブとランタンを組合わせた**達磨ランタン**を考案。ストーブでありながら周りを照らす事ができる機能を持つ。



チーム 09

優秀賞

マンホールから**様々な重さ（大きさ）でプレート**を切り出し**ダンベル**に。マンホールの表面デザインをそのまま活用。



チーム 10

マンホールを溶かして鋳造し製作する**傘立て**から**シーサー**。**シーサーの持つ魔除け効果**、玄関や入り口に設置する**傘立て**を合わせた提案。

